学校番号	3017

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年
校内名称	倫理／選択倫理（文系）・倫理政経（理系）			ユニット数	文系1.5 理系1.0	必選別	選
使用教科書	高等学校 改訂版 倫理　（第一学習社）						
副教材等	最新倫理資料集　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まず、考えること。考えることに人間の本質がある、といわれる。ただ単に考えるのではなく、何が問題であり、その問いを解決するためにはどうしなければならないか、先行する思想家はどのように考えたのか、様々な問いを論理的整合性を持って解決しようと心がけてください。
暗記科目と考えて記憶に精を出すのではなく、様々な問いに疑問を持つようにしてください。自ら考えようとする姿勢が、後になると理解につながります。
授業で板書を写し、評価をもらうことが勉強の（人生の）目的ではありません。何が重要なのかを見いだし、自分が「理解するために」ノートを作り、自分だけの参考書を作ることが勉強であり、それが結果としてセンター試験でも生きてきます。ポイントは、人物とキーワードを結びつけること。
たくさん本を読みましょう。新聞も読みましょう。いろんな方法で「感性」を磨いてください。センター試験でも読解力が問われるものが必ずあります。

2　学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある人間として必要な能力と態度とを育む。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:資料活用の技能	d:知識･理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と生命に対す畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる先哲の思想を探究し、人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとする。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、時代背景や先哲の思想を参考にしながら、多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	先哲の著作や、様々な諸資料を読み、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関わる先哲の思想などを、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 授業の参加態度	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９０％程度、平常点１０％程度です。

4　学習の活動

期間 倫理	期間 理系倫政	期間 選択倫理	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	主な評価の観点 b	主な評価の観点 c	主な評価の観点 d	単元(題材)の評価規準	評価方法
2年後期で実施済み	2年後期で実施済み	前期中間考査まで	人間としての自覚	ギリシャの思想 キリスト教・イスラーム・仏教の思想 中国の思想	○			○	a. 「哲学的な思考法」や「宗教的な思考法」に関心を持ち、「善さ」や「正しさ」とは何かについて探究しようとしている。 d. 仁や礼などから人間についての見方や望ましい人間関係による社会生活のあり方などを理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート 定期考査
			国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の風土と伝統 外来思想の受容	○	○	○	○	a. 日本の伝統的な価値観について関心を持ち、それらを手がかりに日本の思想の展開について探究しようとしている。 b. 仏教思想間、朱子学と古学など、様々な思想を、時代背景も踏まえて比較しながら考察している。 c. 先人の思想に関わる資料から、その思想の特徴を読み取っている。 d. 仏教や儒学、とりわけ朱子学がどのように日本人の意識や価値観に影響を与えたかを理解し、次の「庶民の思想」を理解するためにも用いている。	ワークシート 定期考査
前期中間考査まで	前期中間考査まで			町人意識の目覚めと庶民思想	○	○		○	a. 江戸時代や明治時代という時代を踏まえ、思想の多様性に関心を持ってそれらの思想を探究しようとしている。 b. 町人の思想や国学が提唱する人間性を尊重する生き方について、儒学などとの関わりも踏まえて多面的に考察している。 d. 石田梅岩の心学が企業の社会的責任に通じる思想であることなど、取り上げる思想はいずれも現代の社会に通じる思想であることを理解し、自分の生き方に関わる知識として身についている。	ワークシート 定期考査 レポート
			国際社会に生きる日本人としての自覚	西洋思想との出会い	○	○			a. 明治以降日本に流入した西洋思想に対してさまざまな関わりがあることに関心を持ち、それらの思想間の関係について考察しようとしている。 b. 外来思想の受容やその影響を受けた思想および社会に与えた影響について、江戸時代のさまざまな思想や西洋思想との関わりも踏まえて多面的に考察している。	
		前期期末考査まで	現代に生き	人間の尊厳 近代の科学革命と自然観		○ ○	○	○ ○	b. 設定された時代に登場した新しい思想と現代に生きる人間の倫理観について、関連づけて考察できている。 c. ルネサンス期の絵画や文学作品などの諸資料を、考え方を深めるために適切に活用している。 d. 自然と人間との関わり、科学技術の発達の意義や問題点を理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート

前期期末考査まで	前期期末考査まで	後期	る人間の倫理	自由で平等な社会の実現		○		○	a. カントやヘーゲルをはじめとする哲学者の思想に触れて倫理的な見方や考え方について関心が高まっている。 b. カントの動機主義とベンサムの結果主義の比較などの様々な思想を踏まえて多面的なものの見方ができるようになっている。 d. 現代においても存在感のある大哲学者の思想を正しく理解し、人格の形成に生かす知識として、一般教養として世界で通用する知識を身につけている。	
			現代に生きる人間の倫理	人間性の回復と主体性の確立	○		○	○	a. 社会主義や実存主義の哲学考察した問題が、現代に生きる私たちも直面する、大衆社会における個という問題であることを認識し、倫理的な課題について関心を高めている。 c. 先哲の考え方や生き方に関する諸資料を適切に読み取っている。 d. 実存主義の哲学などを通じて、大衆社会における人間性について考察し、自らの人格の形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート 定期考査
後期	後期			現代の思想と人間像		○		○	b. 二度の大戦を経て人間や生き方に対する見方がどう変化したか、新たな哲学上の考え方について、多面的･多角的に考察している。 d. 理性に信頼をおく近代的な人間像を問い直す現代の哲学を正しく理解し、自己や社会全体の幸福の実現のために生かす知識として身についている。	ワークシート 定期考査
				生命への畏敬と社会参加	○		○		a. ガンディーやマザーテレサなどの生きかたを通じて、現代に生きる自己の課題を主体的に考えようとしている。 c. 現代に生きる人間が直面する諸課題に関する資料を、さまざまなメディアを通して収集して活用している。	ワークシート レポート
			青年期の課題と自己形成	青年期の課題と自己の探求	○			○	a. 青年期の意義と課題について、豊かな自己形成に向けて、自らを省みながら探究しようとしている。 c. 青年期の意義と課題に関する諸資料を適切に読み取り、青年期に関わる見方、考え方や、先哲の思想を充分に活用している。 d. 自己確立の基礎を培う時期としての青年期の積極的な意義を理解し、青年期に関わる見方や考え方を、自己の人格形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート レポート
				現代の青年期	○		○			
			現代の諸課題と倫理	生命の問題と倫理課題	○	○	○		a. 現代社会において、様々な倫理的な問題が生じていることに関心を持ち、それらを先哲の思想も援用しながら、自己に関わる問題として考えている。 b. 広い視野に立って考察し、自己の考えを様々な方法で適切に表現している。 c. 先哲の思想を適切に選択して活用している。	ワークシート レポート
				環境の問題と倫理課題						
				情報社会と倫理課題						

※　表中の観点について　　a ：関心・意欲・態度　　b ：思考・判断・表現
c ：資料活用の技能　　d ：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。